

2026年3月1日

幼保連携型認定こども園 **YMCA 保育園 3月えんだより**

3月聖句：「主が一步一步を備えてくださる。」

<箴言16章9節>

寒さが続き、東北や日本海側には豪雪をもたらした厳しい冬から一転し、季節は一気に春へと向かっています。春のやわらかな陽気を感じる日が増え、4月にはじまった2025年度も、いよいよ最後の月を迎えました。今年度もYMCA保育園へ温かなご支援、ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

春の日差しに包まれるこの時期は、子どもたちが希望をもってひとつ上の学年へ進んでいく節目の時期でもあります。先日の乳児クラスの成長をともに喜び合う会でも、一年前の姿を思い返しなが、言葉や身体の発達だけでなく、感性の育ちや感情の表し方など、実に多くの変化に気づくことができました。

誕生会で子どもたちが歌う「小さな赤ちゃんだったのに♪」という歌には、「こんなに大きくなりました。神さま本当にありがとう！」という歌詞があります。そこには、目には見えない神さまに守られているという気づきだけでなく、いつもそばで育ててくださる保護者の皆さまへの思いも自然と湧きあがってきます。

特に、ゆり組（5歳児）のお友だちは、いよいよ小学校という新しい世界へと飛び立ちます。ひとつ学年が上がるということは、親や大人の手から少しずつ離れていくことでもあります。「しっかり歩けるようになった」「会話の内容が深くなった」「お友だちを思いやる姿が見られるようになった」——こうした一步一步の成長とともに、子ども自身の力で生活し、学ぶ力が備わっていきます。しかしその一方で、大人の不安が増すのも、子どもの育ち・子育ての特徴かもしれません。

子育ては、先が見えない不安とのつき合いであると同時に、先が見えないからこそ抱ける喜びや希望に満ちた営みです。新しい道へ歩き出すとき、それは誰も経験したことのない“その子だけの道”でもあります。私たち大人もまた、世界中の誰ひとりとして同じ道を歩まないように、同じ学校に通っても一人ひとり違う経験を重ねていきます。

今月の聖句、「主が一步一步を備えてくださる。」には、その歩みを神さまが確かに導いてくださるという約束が込められています。その前の節には「人間の心は自分の道を計画する」とあります。私たちは将来の計画をあれこれ思いめぐらしますが、人生は必ずしもその通りには進みません。それでも、その道が偶然の積み重ねなのではなく、神さまが整えてくださり、私たちの手を取りながら一步一步を実現してくださる道なのだ、聖句は教えてくれます。

そして、保育園での毎日は、見えない将来に向けて「私は愛されている」「ぼくはこのままで大丈夫！」という“見えない根っこ”をしっかり育ててきた時間でもあります。目には見えない中にこそ大切なものがあり、そこにこそ神さまの守りと導きがある——そのことを信じて、子どもたちを送り出したいと思います。

子どもたちと保護者の皆さまの新たな一步一步が、神さまの豊かな祝福に満たされますよう、心よりお祈りいたします。

年主題：「ともに」 年主題聖句：「わたしはあなたと共にいる。」（イザヤ書43章5節）

3月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	おおきくなったね/おおきくなったよ	よろこびあう／希望をもって
	<ul style="list-style-type: none"> ・「神さまありがとう」とともに祈る ・生活リズムが安定し、心も体も満たされて過ごす ・春の訪れを感じ、活発に動き出す ・神さまやたくさんの人に愛されて大きくなったことを喜ぶ ・友だちと一緒に心地よくなり十分に遊ぶ ・季節の変化を感じ、いろいろな春を見つけ触れてみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくなったことを神さまに感謝し、互いに喜びあう ・自分の遊びを深めつつ、お互いの存在を感じあいながらともに過ごす ・球根の芽や咲き始めた花々に目をとめ、伝えあいながら春の訪れを喜びあう ・成長させてくださった神さまに感謝し、これからも神さまがともにいてくださることに希望をもつ ・進級・就学という新しい生活に希望と期待をもって、友だちと好きな遊びを存分に楽しむ ・日差しのぬくもり、花々の開花から春の訪れを感じ、戸外で心地よく過ごす
讃美歌	幼児讃美歌50 つくしのよう	